

第2回 後志利別川整備計画検討委員会 (第1回委員会における委員からの意見)

< パワーポイントによる補足説明 >

- : 水質はBODについては、環境基準を満足しているが、他の項目もあると思うので説明願いたい。
- : BODも次回わかりやすく説明してほしい。
- : ダムが運用されてから平成3年から5年までは清流日本一になっていないが、ダムとの関連はどのように整理されているのか。
- : ダム建設前後でダムの流況が違うと思うので、ダム建設前後で期間を分けて流況データを整理してほしい。
- : 正常流量のデータには利水の流量も含まれていると思うので、利水分がどの程度なのか教えていただきたい。
- : 小学生等の意識啓発を図るようなものが整備計画の中に盛り込まれているのか。また、今後、小学生向け資料の発刊予定はないのか。
- : イベント等に参加したりするのも大事だが、子供たちが後志利別川で今から学習していくと、将来いろいろな河川管理に関わる大人になるのではないかと思う。
- : 今年の春に今金町民を中心に美利河ダムの魚道から5m離れた所に植林を行った。河畔林としての効果が出るまでには50年はかかると思う。すぐには効果が出ないので対岸の方にヤナギの木などを魚道の縁に植えてもたらいたい。
- : 美利河ダムの魚道の縁の植林を早期にできるように検討してもらいたい。
- : 地元では道や国から河川管理に必要となる様々な情報ももらっているが、実際は目視確認しながら対策・対応に取り組んでいる。さらに速やかな連携体制や対応をとれるよう画像情報の提供もお願いしたい。
- : 魚道の釣り禁止について。

< 口答による説明 >

- : 洪水時のダムからの放流に伴う濁水により下流の農業用水路に沈殿した水の影響があったとの報告があったが関係機関等と連携して、合理的、安定的な利用の確保をお願いしたい。
- : 柳と一緒にナナカマドを植えられないか。冬鳥のレンジャクの仲間は、ナナカマドの実を餌としている。
- : 本流に向けての魚道の早期整備が必要だと思う。
- : 後志利別川においては水質保全に河川清掃や河畔にブナ類を植えたりする活動を行っている。今後も、町、道、国間で連絡、協力が得られるように要望したい。
- : 後志利別川の河畔林はすばらしい状況にあることから、現在の水辺環境に配慮しながら、整備することが重要だと思う。
- : 今金地区は内水被害が非常に心配される場所である。今後も対応をお願いしたい。

< 原案修正対比表による説明 >

- : 原案の河川整備計画の対象区間の真駒内川上流端の地先住所を確認願いたい。
- : 美利河ダムは、多くの方の来訪を期待できるので、もう少しダムサイトに植樹をするなど景観整備を図ると良いと思う。ダムそのものを景観上の重要なポイントに位置付けた方が良いと思う。
- : サイクル型維持管理体系を理解し易くなるように工夫してほしい。
- : 河川整備計画(原案)の中で、美利河ダムに関連する課題、問題認識等についての説明がほとんどなかったが、ダムについての考え方を整理してほしい。